曽於市社会福祉協議会情報紙　第78号
令和３年２月15日

手と手

やさしさ100パーセント



画題：「山茶花（さざんか）」　作者名：よしこ（財部町在住）

幼木を購入し、初めて我が家の庭に可愛い花を咲かせました。枝を折るのを躊躇しましたが、一枝摘んで部屋に飾り、スケッチをしました。春の暖かい日が待ち遠しいです。

人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む

発行／社会福祉法人 曽於市社会福祉協議会
曽於市財部町南俣504番地1（財部保健福祉センター内）E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp
TEL　0986-72-0460･0480　FAX　0986-72-0425
【末吉支所】　TEL0986-76-2224
【大隅支所】　TEL099-482-3013

「手と手」情報紙は、本会ホームページでもご覧になれます。
URL:http//soo-shakyo.or.jp/

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会会費を財源に発行しています。

第16回 曽於市

～みんなの力で 人に






開催趣旨朗読


社協会長挨拶


曽於市長挨拶

令和２年11月29日㈰末吉総合センターで、第16回曽於市社会福祉大会を開催しました。

本年度はコロナ禍での開催のため、大会規模を縮小し、参加人数を制限させていただきました。感染予防対策にご協力いただいた参加者や大会運営にご支援をいただいた学校及びボランティア関係者の皆様方には、深く感謝申し上げます。

多年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々の功績をたたえるとともに、曽於市の福祉のまちづくりの推進を図るため、地域住民や福祉関係者一人ひとりが「人にやさしいまちづくり」について共に考える機会となりました。

曽於市社会福祉協議会は、今後も曽於市の「ふだんのくらしのしあわせ」の実現に向けて取り組んでまいります。


表彰式典




被表彰者謝辞

社会福祉大会

やさしいまちづくり～







最優秀賞福祉作文・ポスター
表彰及び作文発表





被表彰者の皆さま













学生ボランティア

表彰

永年にわたり地域福祉活動に功績のあった方々への社会福祉協議会会長表彰、福祉団体長表彰、福祉作文及びポスター表彰が行われました。併せて、福祉団体及び共同募金会の表彰状及び感謝状の伝達も行われました。受賞者を代表して、松永安雄 様が謝辞を述べられました。被表彰者の方々をご紹介します。
（敬称略）

社会福祉法人曽於市社会福祉協議会 会長表彰

表彰の部

民生委員・児童委員　7名　　民生委員・児童委員として、長年その職務に従事し、功績があった方

棚木原　重　光	外　園　榮　教	津　留　ユミ子	吉牟禮　芳　治	西　山　れい子	冨　岡　佳代子
瀬戸口　えい子					

社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等　1名　　社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等として、長年在職され、功績があった方

山　田　美保子					

社会福祉団体等の役職員　8名　　社会福祉団体等の役職員として、長年在職され、功績があった方

新　屋　　文	春　山　榮　子	郡　山　嘉　文	松　永　安　雄	山　中　ミチ子	西　川　麻衣子
福　留　真奈美	田　畑　直　美				

在宅福祉アドバイザー　9名　　在宅福祉アドバイザーとして、地域の中で援護を必要とする方々への声かけや見守りを行い、その活動が他の模範となる方

東　山　浩　二	竹　内　政　子	末　吉　いく子	有　馬　一　馬	髙　山　幸　子	牧之瀬　キリ子
枝　元　広　幸	藤　田　ケイ子	新　屋　和　子			

福祉団体長表彰：曽於市長寿クラブ連合会 会長表彰

役職功労　10名　　長年にわたり、役員として貢献された方

新澤津　　順	柳　田　レイ子	岩　壽　タニエ	田　代　清　敏	玉　利　敏　子	泊　　邦　義
中　村　京　子	西　　道　男	林　　正　人	前　田　良　子		

福祉作文・福祉ポスター

福祉作文

最優秀賞　2名

財部小学校4年　　福　岡　青　志	末吉中学校3年　　久　永　李　々

優秀賞　5名

高岡小学校1年　　達　脇　萌　花	岩川小学校5年　　竹之内　楓　音	財部小学校6年　　赤　塚　莉紗徠
末吉中学校2年　　森　岡　　奏	末吉中学校1年　　脇　　あいり	

入選　9名

高岡小学校1年　　丸　野　想　月	月野小学校6年　　上ノ瀬　隼　人	恒吉小学校5年　　馬　方　悠　七
財部小学校6年　　久　保　智　暉	財部小学校6年　　瀬戸口　　絆	財部小学校6年　　久　保　佳　暉
財部小学校6年　　石　神　葉　琉	財部小学校6年　　桂　原　　凛	財部小学校6年　　内　村　葉　月

福祉ポスター

最優秀賞　2名

岩川小学校6年　和田　涼那	末吉中学校2年　大休寺　涼那

優秀賞　7名

柳迫小学校5年　満倉　桃羽	深川小学校2年　池之上　夢海	諏訪小学校6年　西　雅也
諏訪小学校5年　山﨑　翔泰	諏訪小学校2年　木道　愛華	岩川小学校6年　渡邊　結音
末吉中学校3年　坂元　陽南		

奨励賞　14名

深川小学校4年　宮囿　宏樹	深川小学校2年　東　由結	深川小学校1年　上薗　寛晃
深川小学校1年　川野　凛汰郎	諏訪小学校6年　幣次　心咲	諏訪小学校6年　山下　蒼空
諏訪小学校5年　大川内　翼颯	大隅南小学校4年　村下　千夏	大隅南小学校2年　村下　十藤
大隅北小学校6年　小濵　花恋	恒吉小学校5年　馬方　悠七	月野小学校5年　山下　嘉月
末吉中学校3年　與倉　笑恋	末吉中学校2年　山口　瑚晴	

入選　28名

光神小学校6年　地主園　桜佑	光神小学校5年　肝付　裕太	柳迫小学校6年　井之口　陽姫
柳迫小学校4年　西元　愛花	柳迫小学校3年　飯島　妃奈望	柳迫小学校3年　福岡　紗羅
柳迫小学校1年　重山　百咲妃	高岡小学校1年　丸野　想月	深川小学校4年　富永　琉花
深川小学校1年　村上　紡葵	諏訪小学校6年　松ヶ野　來夢	諏訪小学校3年　逆瀬川　善星
岩南小学校5年　馬場　良太	岩南小学校5年　西留　愛理	岩川小学校6年　山口　咲桜
月野小学校6年　瀬戸口　康介	月野小学校6年　三島　巧雅	月野小学校5年　西川　瑛人
月野小学校5年　吉岡　澪音	月野小学校2年　乙藤　有翔	月野小学校2年　上迫　由奈
大隅南小学校5年　田中　煌愛	大隅南小学校3年　青木　一朗	大隅北小学校5年　伊地知　新太
大隅北小学校4年　小濵　杏奈	恒吉小学校5年　新留　隼斗	末吉中学校3年　柴下　生蕗
末吉中学校2年　谷川　知優		

表彰状及び感謝状伝達

全国老人クラブ連合会会長表彰	鹿児島県老人クラブ連合会会長表彰
山元　文明	井口　文夫

鹿児島県共同募金会会長感謝状

曽於市民生委員児童委員協議会連合会	ボーイスカウト曽於第6団
社会福祉法人曽於市社会福祉協議会役職員一同	

会長あいさつ



社会福祉法人
曽於市社会福祉協議会
会長　市　吉　幸　二

令和3年がスタートして、早一ヶ月が経過しました。

皆様方におかれましては、輝かしい年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、社会経済情勢の悪化など国民生活に多大な影響が生じているところです。

こうした中、地域福祉推進のため感染リスクとも向き合いながら支援に携わっている方々に敬意を表するとともに感謝申し上げます。

さて、人生 100 年時代に近づいていますが、一生の中には順風満帆ばかりではなく、予期せぬ災難にあったり、経済的に立ち行かなくなったり、格差社会の中でもがいたり、いわゆる社会的な弱者となることもあります。自立しようとして頑張っても厳しい時間が続く時もあります。

誰もが、日常生活に不安を感じるようになったら、人に相談し助けを求める勇気を持つこと。また、お互い様の関係を、元気なうちから培っていくことも大事なことです。

近年、少子高齢化、生活困窮、社会的孤立、病気や障がい、介護など多くの課題が複雑化しております。

解決のためにはまず「課題は何か」を把握し、解決に取り組める「人材育成」や「組織強化」も必要となります。

曽於市社会福祉協議会として、この地域に合った福祉活動の推進にこれからも取り組んで参りますので、皆様方のさらなるお力添えをお願いいたします。

本年が、皆様にとって、より良き年であることを祈念いたしまして、ご挨拶といたします。

曽於市ではじめて

手話の講習会を開催しました

聴覚障がい者が生活しやすい社会を実現するため、曽於市手話言語条例が令和２年４月１日に制定されました。

地域住民が「手話は言語であること」を認識すること、「聴覚障がい者が手話による意思疎通を円滑に図ることができる権利」が尊重されること等を目的としています。

令和2年10月28日に「手話奉仕員養成講習会」（入門過程18回）が開講し31名の受講生が参加され、手話でコミュニケーションができるように、技術や聞こえない障がいについて意欲的に学習しました。しかし、12月に入り、市内でコロナ感染拡大の状況となり、今年度の講習会の開催を中止とすることにしました。

オンラインではなく、対面での講習会の受講を希望されている受講生が多く、新年度に改めて、講習会を行うことにいたしました。

手話が言語として、広がりつつある中、受講生の興味・関心が消えないよう、社会福祉協議会は事務局として支援してまいります。





岩川小で福祉出前講座を開催しました

「人との関りを通して他者への理解を深める」

10月21日（１回目）

福祉講話と「車いすの使用及び動かし方等」について学び、その後実際に学校内の道路や段差のあるところで車いすの体験を行い、操作の難しさや大変さを感じてもらい自分たちでできることを考えるきっかけとなりました。



10月28日（２回目）

地域で福祉活動を実践されている５団体・グループの代表者に取り組みや活動を通じた体験談をお話していただきました。





講話後、地域福祉の活動者と交流しながら、一緒にボッチャやスカットボールなどを使ったレクリエーションを行いました。

※レクリエーション用具の福祉活動機材等は、市社会福祉協議会で無料貸出を行っていますのでお近くの窓口までお尋ねください。

11月19日（３回目）

市役所をはじめ市内の介護福祉施設の職員にご協力いただき、寸劇を取り入れた認知症サポーター養成講座を行いました。寸劇後は、認知症に対する正しい理解を深めるためにグループで話し合いを行いました。







～子どもたちの声～

車いす体験をして

車いす利用者の方や介助される方の気持ちが分かり、声かけをしてもらうことで本人の安心につながることがわかりました。

福祉活動者の話を聞いて

地域に色々な活動があることがわかりました。自分にできることやボランティア活動をみつけて、たくさんの経験をしていきたいです。

認知症サポーター養成講座を受けて

困っている方を見かけた時など優しく丁寧に声をかけられるようになりたいです。

全体的に

相手の立場にたって、思いやる事やみんなが助け合う大切さを学びました。高齢者の方等に話しかけるのは苦手だったけど、今回の講座で話しかけやあいさつが少しできるようになりました。

ボランティア養成講座を開催しました



10月15日からボランティア養成講座（計４回）を開催し、25名の方が受講されました。「生きづらさを抱えた方への支援」をテーマに、「伴走型支援活動」「ひきこもり体験」「ボランティア活動報告」等の内容で講話を行いました。

講話後は、グループでの意見交換を行い、自分たちの地域にある課題に目を向け、どのような支え合いが必要なのか考えました。

講座参加者より

今回、「伴走型支援」というものをはじめて聞き、今まで自分のボランティア活動で全く意識していなかった事に衝撃を受けました。相手に寄り添うために徹底して聞く姿勢に驚き、色々な方にもぜひ聞いてもらいたいので、1回2回でなく長期的な講座にしてもらえたらと思いました。今度開催される伴走型支援者養成講座も参加したいと思っていますし、今回の学びを活かしたボランティアについても考えていきたいと思います。



【講座参加者アンケートの回答から】

★おせっかいと言われてもそれが人の命を救う場合もあることを感じた。

★傾聴の姿勢について学べました。今まで認知症の方と長く関わってきたものの一方的な支援になっていたかも？と振り返ることができた。

★年齢を問わず、ひきこもっている方も含めて、いろんな方が参加できる場所やそこへ行く交通手段など新しい形を地域で作ることが出来たらと思った。

★日常生活の中で様々な困りごとを抱えている方がいると思うが、地域（自治会・近所）で現状の把握や見守り活動等がもっと広がっていけばいいなあと思った。



ふくしワークショップ

Welfare workshop









世界に1つだけの myバッグづくり

共同募金運動の啓発と、社協事業や地域活動への理解を深める“ふくしワークショップ“を開催しました。

共同募金や社協事業など地域福祉をより身近なこととして感じてもらえるように「福祉に関するクイズ」と「障がい者スポーツ“ボッチャ体験”」を実施し、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々に参加いただきました。

また、全国で始まったレジ袋の有料化に対し、マイバッグ作りを通して環境問題への意識づけを図る機会にもなりました。皆さんよりいただいた参加費は、全額曽於市共同募金委員会へ寄付いたしました。









こんなに夢中になったことはないよ

僕だけのバッグ完成！



募金額：622,200円

サロンで地域いきいき

～東旭ヶ丘いきいきサロン～

代表　高田サエ子





東旭ヶ丘いきいきサロンは、活動4年目を迎えました。毎回20名前後の参加があります。まずお茶を飲みおしゃべりをして、ストレッチ、踊り、習ってきた体操、ゲームなどをしています。１ヶ月おきに食事も作り、その間他の方は花壇の花植えや草刈りなどをして皆が参加しています。日帰りのお出かけをしたり、年に１回は誕生日会をしています。

この他に社協の福祉バスを利用して研修も実施しています。隣近所同士、気にかけながら気兼ねなく集まって、これからも笑って過ごせるサロンにしていきたいと思います。

曽於市地域包括支援センターより

《ズームによるサービス担当者会議を開催しました》



新型コロナウィルス感染症の収束が見えない現在、遠方からの帰省が難しくなり家族に会うことができず寂しい思いをされている高齢者の方が多くいらっしゃいます。

地域包括支援センターでは､遠方に住んでいらっしゃる家族と利用者、介護サービス担当者をつなぐ方法はないかを検討し、新型コロナウイルス感染症予防対策として取り入れたオンライン会議のシステム（ズームによる）を活用しサービス担当者会議を開催しました。当日は、介護支援専門員が利用者の自宅で機材をセッティングし、市内の介護サービス事業所と関東地区に住む娘さん２人に参加していただきました。画面上ではありますが、久しぶりに親子が対面でき大変喜ばれたこと、遠方に住む家族にもケアプランの内容を説明できたこと、利用者や家族が介護サービス担当者の顔



を見て直接お話しができたことなどメリットの多い会議となりました。

コロナ禍においても工夫することで人と人とのつながりを持つことができる…ということを感じる機会となりました。地域包括支援センターでは、これからも新しい生活様式を取り入れながらも、「つながり」を大切に支援していきたいと思います。

曽於市社協からのおしらせ

新任職員紹介



財部地域福祉相談センター
熊谷（くまたに）綾菜（あやな）

この度、財部地域福祉相談センター（高齢者実態把握事業）で勤務させていただくことになりました。これまでの経験を生かし、皆様が住み慣れた地域や場所で安心して生活できるように頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和３年度「手と手」情報紙モニター募集

本会では、地域の皆様へ福祉の情報発信と啓発を目的に年4回情報紙の発行をしています。令和3年度情報紙モニターとして、アンケートにてご意見をいただける方を募集します。詳しくは、曽於市社会福祉協議会までご連絡をお願いします。

心配ごと相談所開設について

日常生活のことで、お困りのことがありませんか？心配ごと相談員や社会福祉協議会職員が対応いたします。

会場	開催日時	２月25日 9:30～12:00	3月11日 9:30～12:00	3月25日 9:30～12:00	4月8日 9:30～12:00	4月22日 9:30～12:00	5月13日 9:30～12:00	5月27日 9:30～12:00
財部保健福祉センター	相談員	棚木原	柳　田	鎌　原	橋　本	棚木原	柳　田	鎌　原
そお生きいき健康センター	相談員	山　内	竹　石	原　田	吉　田	羽　嶋	山　内	竹　石
大隅弥五郎伝説の里	相談員	大　村	鍋　山	津　曲	佐　伯	鍋　山	大　村	津　曲

無料法律相談開設について

ひまわりの会による無料福祉相談

○相談料：無料
　※1回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：事前に予約が必要です。
○お問合せ先：
　ひまわりの会　事務局　代表弁護士　山口　政幸
　鹿児島市山下町12番17号2階
　TEL：099-227-0041（受付：平日9時～17時）

○相談日時及び会場：

会場	相談日時
財部保健福祉センター	４月15日（13時から16時まで）
そお生きいき健康センター	２月18日、５月20日（13時から16時まで）
大隅弥五郎伝説の里	３月18日（13時から16時まで）

藤尾法律事務所による無料法律相談会

○相談料：無料
　※1回につき相談時間は30分以内
○申込・受付方法：先着順、事前電話予約可
○お問合せ先：
　弁護士法人 大隅広域ディフェンダー
　藤尾法律事務所 末吉支所
　曽於市末吉町本町1-4-5　TEL：0986-51-9830

○相談日時及び会場：

会場	相談日時
財部保健福祉センター	３月９日、４月13日、５月11日（13時から15時まで）
大隅弥五郎伝説の里	３月16日、４月20日、５月18日（18時から20時まで）

たくさんの善意に感謝いたします。

曽於市社会福祉協議会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切に使わせていただきます。
なお、本紙への掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。

香典返し寄付金（敬称略）（令和２年11月１日～令和３年１月31日）

財部地区

大村一朗　沢田
鶴丸一弘　仏性院
東杢比野憲一　杢比野
春田初子　東馬場
久木田悟　上大川原
後藤由紀子　都城市
棚木原重光　元棚木
平田チエ　上帯野
中野ハル子　下中野

末吉地区

白杉久美　麓
上原尚士　上之馬場
下稲アヤ子　前川内
小田キリ子　森田
山之内正子　蔵之町
小宮路一良　中高松
池之上知恵美
田中フヂ子　南柳井谷
眞方山テツ子　外園前
田中次子　原口西
別府ハナ子　麓

大隅地区

三坂幸子　西中園
山下国治　南法楽寺
遠矢タミ　東飯田
金澤義和　西笠木
丸野マスエ　渡
木ノ下俊一　上長江
津曲高一　東桜ケ丘
永吉ユウ子　中坂元
[redacted]
上村みき子　新坂元
米澤正敬　浅井
大路敬子　浅井
濱田政継　中園

一般寄付金品（敬称略）（令和２年11月１日～令和３年１月31日）

財部地区

該当なし

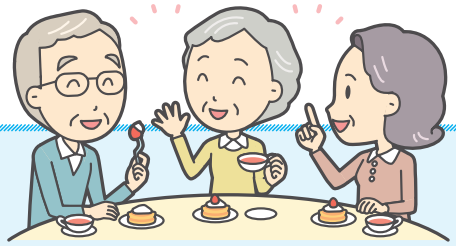
末吉地区

匿　名　5,000円
匿　名　100,000円
大園　征郎（中高松）　5,000円

大隅地区

㈲堀切建設（大隅町坂元）　100,000円
池之上　淳一





職員より

新型コロナウイルス感染症の拡大により日常生活の様式は変化し、新年を迎えるにあたってもこれまでと違う形で迎えられた方も多かったのではないでしょうか。

地域では、これまで実施していた地域福祉活動が思うように行えない状況にあると思います。今まで日常にあった地域の居場所や人と接する機会などが無くなり、不安や孤立感等を抱える人が増えています。

そのような中で、徐々に感染予防しながらサロン活動等の再開が見られるようになり、地域の方からは「サロンをしてほしい」「みんなで話がしたい」といった声が聞かれるようです。このような地域での活動が住民の皆さんの日常生活の一部となっていることを嬉しく思うと同時に人とのつながりを持ちながら生活することの大切さを強く感じました。

コロナ禍という状況だからこそ、つながりを大切にすることが求められていることも考え、今後も地域の皆さんと一緒にみんなが安心して生活できる地域づくりに取り組んでまいります。

A・W